

上映会&トーク

アラン峠を越えていくー在日コリアンの音楽

～ 在日コリアンの音楽は、かれらの歴史や生活を映し出している。
過去を知り、未来を考えるための音楽のドキュメント～

監修：高正子 寺田吉孝

時間：75分

制作年：2018年

撮影期間：2014年ー2016年

撮影・製作： 国立民族学博物館

登壇者： 高正子（神戸大学非常勤講師） ・ 寺田吉孝（国立民族学博物館 教授）



日時：2020年1月12日（日）14時-17時（13時半開場）

会場：大東文化会館 1階ホール 東武東上線 東武練馬駅 徒歩5分

アクセスマップ：https://www.daito.ac.jp/file/block_49513_01.pdf

主催：東京工業大学 科研プロジェクト "Music, Minorities, Intercultural Experience"

東京大学 東洋文化研究所 班研究 (アジアにおける近代性とマイノリティーのエージェンシー)

問い合わせ：music.minority.info@gmail.com

入場無料 予約不要

アリラン峠を越えていくー在日コリアンの音楽

在日コリアンは、朝鮮半島の植民地時代(1910-1945)に日本に移住した人々とその子孫たち。戦後、朝鮮半島は南北に分断され、朝鮮戦争などを経て今も続いている。日本、大韓民国(韓国)、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)による政治的対立は、在日コリアンの生活に大きな影を落としてきた。

この映画では、朝鮮半島に伝わる民族音楽を継承する音楽家や在日の思いを伝える3組(安聖民、李政美、金剛山歌劇団)の音楽家の活動に焦点を当て、在日コリアン音楽の多様性を紹介する。また、コミュニティで受け継がれてきた歴史の記憶、三つの国の間に生きる在日コリアンたちの苦難と希望の象徴であるアリラン峠を越えていこうとする音楽家たちの生き様と情感が描かれている。

高正子(コオ チョンジャ) 神戸大学 非常勤講師

大阪生まれの在日2世、在日コリアンの生活文化を研究。「『食』に集う街ー大阪コリアンタウンの生成と変遷」『食から見る異文化理解』(河合利光編著、時潮社、2009)ほか。

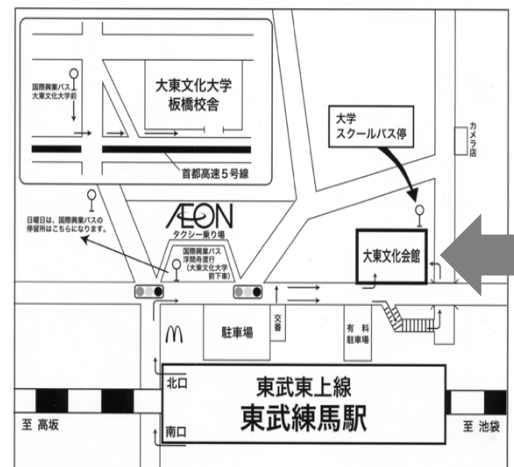
寺田吉孝(テラダ ヨシタカ) 国立民族学博物館 教授

アジアの伝統音楽と欧米のアジア系移民社会の音楽実践の研究に従事している。映像音響メディアにも興味を持ち、番組の制作を行いながら音楽研究や伝統音楽の保全・活性化に果たしうる役割を検討している。制作番組に、『大阪のエイサーー思いの交わる場』(2003年)、『怒ー大阪難波の太鼓集団』(2010年)など。



大東文化会館アクセスマップ

〒175-0083 東京都板橋区徳丸2-4-21



※大東文化大学行きスクールバスは、東武東上線『東武練馬駅』北口、大東文化会館1階バスターミナルより運行いたします。
※国際興業バスをご利用の方は、AEON前バス停より『浮間舟渡行』に乗り大東文化大学前で下車して下さい。なお、日曜日のみ停留所が変わりますのでご注意ください。